

すぐに使える

『ユニバーサルデザイン授業』の工夫

～通常学級での実践ヒント集～



ユニバーサルデザイン授業

平成 26 年度 5 月号

京都府丹後教育局

Tel : 0772-22-2175

Fax : 0772-22-0479

HP : <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/>

この便りは、平成 25 年度丹後特別支援教育研究会の協力を得て作成しております。

ユニバーサルデザイン授業をめざし…

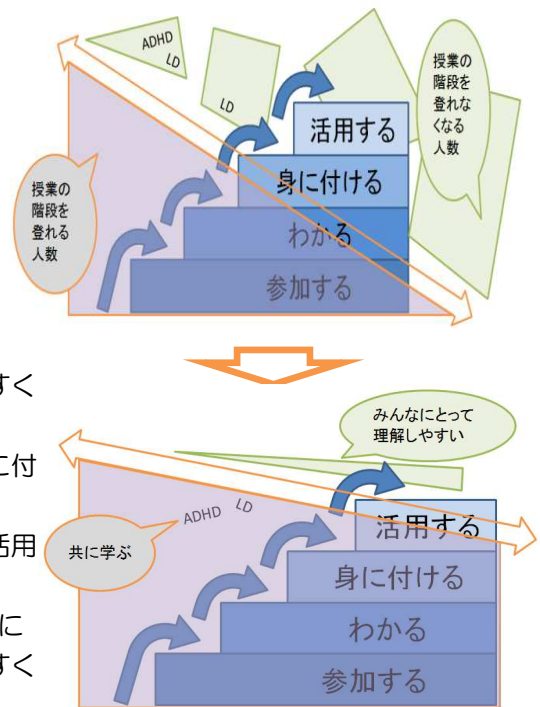
「ユニバーサルデザイン授業」という言葉に、何か新しいことをしなければいけないといった不安や抵抗を感じる先生方もおられますが、これまでから「どのように子どもたちにわかりやすい授業を行うのか」を常に考えながら行っている教材研究や授業実践の取組と基本は同じです。「ユニバーサルデザイン授業」は、児童生徒の実態を把握し、特別支援教育の視点を少し取り入れて教材分析をするところから始まります。「すべての子どもがわかる・できる」授業づくりのために、学習規律の確立や、児童生徒の興味・関心・意欲を引き出す動機付けなどについて、教師自身が指導を振り返ることも大切です。

めざす授業のイメージ

- ▼ 授業内容の定着と活用という目標を階段で示す。
- ▼ 授業に参加するところからつまづく児童生徒もいる。
- ▼ **参加する** → **わかる** → **身に付ける** → **活用する**
ことが、だんだん難しくなる。

「ユニバーサルデザイン授業」を行うことで

- ◎ 環境設定を工夫し、みんなが参加しやすくする。
 - ◎ 授業の中での指導方法を工夫することで、みんなにわかりやすくする。
 - ◎ 繰り返し取り組むような工夫などを取り入れて、みんなが身に付けられるようにする。
 - ◎ 普段の生活でも活用できるような活動を取り入れることで、活用が進むようにする。
- ※ 発達障害の可能性のある児童生徒や、感じ方、理解のスピードに特性がある児童生徒も共に学ぶことができ、みんなにわかりやすく参加しやすい授業をめざす。



授業で心がけること ～環境設定～

普段の授業の中で、何気なく行っていることの中にも児童生徒にとって有効な支援があります。

①時間を管理する。

- ・ 作業時間などを具体的に示し、見通しをもたせる。
- ・ テストなどで時計を活用する。
(時間配分ができる力を付ける。)

見通しがもてずに課題に集中することが苦手な児童生徒に有効です。

②作業スペースを管理する。

- ・ 机上整理を指導する。
- ・ グループで大きな机で作業をさせる。

授業中に物をよく落とすなど、物の管理の苦手な児童生徒に有効です。

中学校定期テストについて～ユニバーサルデザインの視点で考える～



支援1 テストに向けた対策

【実現可能な学習計画表をつくる。】

テスト範囲が知らされても、自分で学習の予定を立てられず、何をどこからやったよいか分からない生徒がいます。学校によっては、カレンダー式の計画表を作成し、生徒に記入させるような取組もあります。

しかし、この取組においても実際に自分が勉強するイメージをもち、机にどれだけ向かえるのか、予定どおりにならない場合にどう計画を修正していくのか、などの「見通す力」を必要とします。

学習計画表に加えるとわかりやすい！「学習方法」の例

- | | |
|----------------------|------------------|
| ① 声に出して読む。 | ⑥ 授業プリントをやり直す。 |
| ② 教科書の太字に線を引く。 | ⑦ 友達と問題を出し合う。 |
| ③ 教科書の太字を繰り返し書く。 | ⑧ 暗記カードを作り、活用する。 |
| ④ 授業ノートを書き写す。 | ⑨ 市販の問題集に取り組む。 |
| ⑤ 学校の問題集に取り組む。(やり直す) | |

選んだ「学習方法」
の番号を書く

～学習計画表の例～

テストまで	月日	教科	学習方法	自己評価	振り返り
あと14日	6/11	英語	① Unit2	◎	バッチリ！
		数学	⑤ P.26~29	△	P.26 だけ
あと13日	6/12	社会	③ テスト範囲分	○	1回だけ書いた

計画内容が適切であるか、事前に確認する機会をつくることや、意欲が継続するよう教師や保護者からの声かけが必要です。



支援2 テストで力を発揮するための対策

【テストの受け方を理解する。】

いよいよテスト本番。しかし、多くの問題を短時間で解いていかなければならないため、次のようなことが見られます。

- ① 順番に解くことにこだわり、すぐに解くことができない問題を後回しにすることが苦手
- ② 残り時間を意識しながら問題を解くことが苦手
- ③ 時間制限があると思うと緊張し、落ち着くことが苦手
- ④ 集中が途切れてしまい、最後まで集中することが苦手

★支援ポイント1…テスト形式に慣れる機会を設定する。

(制限時間付きの小テストが有効)

★支援ポイント2…定期テストにおける注意事項を提示する。

注意事項の例

- ① 配られたら、まず名前を書く。
- ② 問題用紙、解答用紙の確認をする。
- ③ 問題を初めから終わりまで見て、全体の問題量を知る。
- ④ 分からない問題があったら、後で取り組む。
- ⑤ 問題の番号と解答用紙の番号が合っているか、確認しながら進める。
- ⑥ 選択問題は、いくつ選ぶのかを確認する。
- ⑦ 途中で時計を何回か見て、見通しをもって取り組む。
- ⑧ 最後まで解答できたら、もう一度最初から見直す。
- ⑨ 名前を確認し、静かに待つ。



☆次回8月号の内容は「読み書きのつまずきについて・教科指導のヒント」を予定しています。